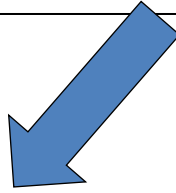
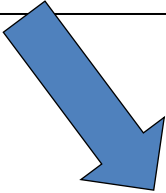


職員による自己評価

- A環境面
軽い運動ができる低学年の部屋と作業など座ってできる部屋がわかれている
- B児童への支援内容
支援計画書に基づく個別対応と1日15分程度の集団プログラムを取り入れている
- C関係機関との連携
・自立支援協議会に参加し行政・保育園・他事業所との情報共有が出来ている
・学校とは送迎時に情報共有している
- D保護者への説明責任・信頼関係
・概ね面談時に細かく伝えている
・日々の様子は連絡帳や送迎時に伝えている
・必要に応じて電話やメールで伝えている
- E非常対応
・年2回避難訓練を行っている
・非常時の対応マニュアルを改めて周知する

保護者による評価

- A環境面
活動スペースが2部屋あり静かに過ごせる部屋があるのがありがたい
- B児童への支援内容
・活動プログラムの内容をもっと知りたい
・面談に於いて保護者の意向を聴いてもらい家庭と連携出来ている
・地域との交流がない
- C事業所からの情報発信
・父母会など保護者同士の交流は無い
・送迎時に伝えてもらい概ね情報共有出来ている
- D非常対応
・避難訓練を行っているのは知っている
・非常時の対応マニュアルがあるのかわからない



事業所内での分析

- 【共通点】
 - ・活動スペースがわかれている状況に応じて使い分けが出来る
 - ・地域との交流は出来ていない
 - ・保護者同士の交流の場を設けていない
- 【相違点】
 - ・HPの活用
 - ・非常時の各マニュアルはある

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・利用定員に対して適切な職員の配置が出来ているので個別対応が手厚い
- ・集団プログラムの内容は計画的に曜日の固定化がないよう日替わりで提供できている
- ・思い切り自由に遊べるスペースと読書や作業を落ち着いて出来るスペースが確保ストレスフリーな居場所になっている

事業所の改善点

- ・非常時のマニュアルを周知する
- ・活動プログラムの内容を伝える
- ・地域との交流を検討する
- ・保護者会開催を検討する

事業所の改善への取り組み

- ・非常時のマニュアル等は面談の際開示していく
- ・活動プログラムの内容を HP に載せる
- ・保護者交流の場はイベント等、家族で参加できる企画を検討する
- ・地域との交流が出来るよう情報収集する
- ・支援の質を更に向上出来るよう職員の研修の場を設け積極的に参加する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

これからも子どもたちが楽しく過ごせるよう支援の幅を広げ、ひとりひとりに合った手厚いサポートを提供できるよう質の向上を目指します。
また、ご家庭と信頼関係をより深めるためには情報共有を密にとり支援内容や事業所の安全性を常に発信して行きたいと思えます。